

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 学校図書館のオリエンテーション 実施していますか？

全国学校図書館協議会が毎年実施している2つの全国規模の調査、「学校読書調査」と「学校図書館調査」の今年度の結果が、昨年11月に公表されました。（*）
後者の調査に「学校図書館オリエンテーション」の調査項目がありましたが、その調査結果から、考えてみたいと思います。

【「学校図書館調査」：調査方法の概要】

- ・調査対象：全国の小・中・高校から都道府県毎に3%無作為抽出
- ・調査時期：2015年6月（計1208校）



○「新生児に対してオリエンテーションを行っているか？」

という質問に対し、実施している学校の割合は、

- ・小学校：93.8%，中学校：87.3%，高校：93.3% でした。また、

○「だれがオリエンテーションを行っているか？」（複数回答）では、

- ・小学校：学級担任；60.2%，学校司書；59.1%，司書教諭；8.1%，その他；9.2%
- ・中学校：学級担任；13.9%，学校司書；53.3%，司書教諭；23.4%，その他；42.3%
- ・高校：学級担任；4.1%，学校司書；71.1%，司書教諭；18.6%，その他；57.7%

オリエンテーションの指導については、やはり学校司書の関わりが強いように思えます。

ともあれ、校種を問わず多くの学校でオリエンテーションが行われていることは望ましいことです。注目したいのは、次の質問の結果です。

○「教職員向けのオリエンテーションを行っているか？」

回答の選択肢は「年度当初の職員会議等」、「校内研修等」、「その他の方法」、「行っていない」の四つですが、「行っていない」という回答の割合が次のとおりでした。

- ・小学校：34.4%，中学校：59.9%，高校：48.1%

オリエンテーションをどのようにとらえるかで、回答も変わるかもしれませんが、どの学校も年度当初の職員会議で、各分掌、各係から本年度の活動案について提案がなされていると思います。学校図書館は先生方全員が教育活動に活用すること、係だけでの運営は無理であることを考えると、学校図書館の効果的かつ円滑な運営・利用のためには、全職員での共通理解が必要です。そのための共通理解を図る方途として、「教職員向けオリエンテーション」はやはり不可欠ではないでしょうか。

（*）調査結果は、全国S L Aのホームページにも掲載されていますが、一部の結果のみになっています。詳細は、同協議会発行の「学校図書館」11月号（第781号）をご参照ください。

□ Hello! 学校図書館 ～ 八田小学校 におじゃましました ～

八田小学校（赤木智幸校長 児童数 524 名）では、地域も協力し、以前から活発に図書活動が行われています。それだけに、美しく整備された、素敵な学校図書館になっています。



学校図書館には「くじらぐも図書館」という親しみやすい名前がつけてあります。その入口横には、見やすく並べられたおすすめの本が、子どもたちを学校図書館へと誘います。



背面の書棚の上の「にじいろのさかな」（マーカス・フィスター）の切り絵が図書館内を明るい雰囲気になっています。写真では机・いすが窮屈そうに見えますが、書棚との間隔はそれほど狭くありません。また、書棚の高さが揃っているため、部屋全体の見通しが良くとれています。



入口入って左側は絵本のコーナーになっています。床の上に座って本が読めるように、低いテーブルが置いてあります。（写真左）各書棚の上や表示の横には、関係の本が置いてあり、その書棚には実際にどのような本があるのか、すぐわかるようになっています。（写真右）



「立志応援文庫」のコーナーでは、緑板を活用して子どもたちが学習活動で調べた偉人たちについての紹介レポートが掲示してありました。(写真左) *天井の魚の飾りにもご注目を！



上記の偉人たちの紹介レポートは、関連本が設置してある書棚のあちこちにも置かれています。さらに、窓のバーには、先生たち全員によるおすすめ本の紹介文が貼ってあります。(写真右)



生徒用机を活用して本のミニ紹介コーナーが作られています。



書架の横のちょっとしたスペースに、赤い丸イスが置いてあり、リラックス感を生み出しています。(写真左上)



図書館に続く廊下には、「くじらぐも図書館」の名前にふさわしく、くじらぐもが、子どもたちを学校図書館へといざなっています。(写真左下)

□ 見つけました！ 役立つサイトの紹介 ～「国際子ども図書館」～

「国立国会図書館 国際子ども図書館」のホームページは以前にも紹介したことがありますが、今回、授業に活用できそうなサイトを見つけたので、再度紹介します。それは、「電子展示会」の案内のサイトです。その中から二つを紹介します。

♪ 「中高生のための幕末・明治の日本の歴史事典」

史料編，人物編，テーマ解説などの内容別に，国立国会図書館所蔵の貴重な資料が，見たい項目をクリックするだけで見ることができます。一例をあげると，史料編では，日米修好通商条約，船中八策，大日本帝国憲法など五資料。人物編では西郷隆盛，坂本**龍馬，大久保利通など 21 名。テーマ解説では，ペリー来航から帝国議会まで 11 項目が設定されており，これらがすべて，クリック一つで詳しい内容や関連事項の解説とともに確認できます。特に，社会科の先生方には教材資料作成に大いに役立ちそうです。

♪ 「日本の子どもの文学－国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み」

明治以降の日本の子どもの本の歴史を概観できる代表的な作品約 450 点について，初版本の表紙や中身を見る・知ることができます。こちらも，学習資料として，また，学校図書館の特集コーナーの資料として大いに活用できそうです。



「国立国会図書館 国際子ども図書館」のアドレス

<http://www.kodomo.go.jp/>

☞ 電子展示会（トップページ左下）のところをご覧ください

国立国会図書館国際子ども図書館について

国際子ども図書館は，国立国会図書館の支部図書館として，平成 12 年に設立された，我が国初の国立の児童書専門図書館です。ホームページのサイトもたいへん充実していますが，「児童サービス・学校関係者の方へ（子どもと本をつなぐ人のページ）」というサイトの中の，「関係機関等リンク集」「キッズページリンク集」は，特に，学校の先生方には役にたつものです。ぜひ，時折，ホームページをチェックされることおすすめします。

□ **福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（2月～3月）**

*** 福岡アジア美術館**

「**アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ**」：2月後半から3月の日程は次のとおりです。

（2月）23日（火），28日（日）

（3月）8日（火），13日（日），22日（火），27日（日）

（時間）11：30～12：00 / 13：30～14：00（1日2回）

（会場）7階「キッズコーナー」

* 事前の申し込みは不要です。

また、8階図書室では、現在開催中の美術展

*** 「韓国アート 1965－2015」展**

（12月17日～4月19日：アジアギャラリー）

に関連した韓国アートに関する本の特集展示
が引き続き行われています。（写真右）



下記のホームページをご覧ください。

*** 「韓国アート 1965－2015」展**

☞ <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/exhibition/detail/242>

*** 福岡市総合図書館**

毎月の「おはなし会」：2月後半から3月の日程です。

（2月）27日（土），28日（日）

（3月）5日（土），6日（日），19（土），20（日）

26日（土），27日（日）

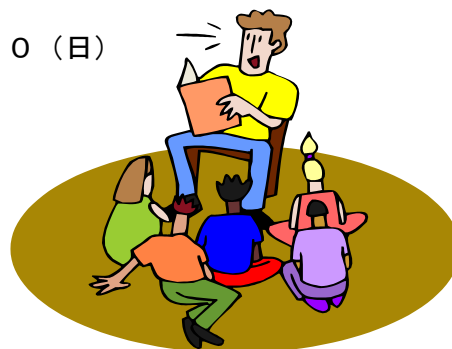
♪ 時間と場所

土曜日：14：30～（幼児向け）

日曜日：14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場 所：「こども図書館 おはなしの家」



♪ こども図書館 2月の展示テーマは「**レンズをのぞいてみたら**」（写真の本を集めて展示）

3月の展示テーマは「**植物**」です。

□ 図書館歳時記（2月下旬～3月）

学校図書館の展示や催事

などの参考にどうぞ

♪ 3月5日：「日本SF作家クラブ」が発足

1963年、東京のとある料理屋に集まった、小松左京、半村 良、星 新一、斎藤守弘、矢野 徹他、11名のSF作家関係者により発足しました。発足当時は日本のSF作家、翻訳者、評論家、編集者による親睦団体でした。その後、1999年に総会が開かれ、アメリカのSFファンタジー作家協会に倣って、英語表記に「Fantasy」を入れることになり、ファンタジーや推理小説を主な活躍とする小説家たちも入会するようになりました。また、漫画家にも門戸を開いており、手塚治虫や永井豪もメンバーです。ちなみに初代の会長は星 新一が就任しました。（現在の会長は藤井太洋）

♪ 3月21日：世界詩歌記念日（World Poetry Day）

1999年、パリで行われた第30回のユネスコの会合において採択されました。国連広報センターのホームページの「主な活動」のサイトにある「国際デー」のところには、「世界詩デー：World Poetry Day」と表記されています。

その解説によると、詩が「国を問わず、人は同じように疑問や感情を感じることを明らかにすることで、我々が持つ共通したヒューマニティーを再認識させること」、「何世紀もの間、多様な文化の奥底にある価値を伝えてきたこと」、さらには

「人の心にある創造的な精神をとらえる」という、詩が持つユニークな力について述べられています。



✿ 2月・3月に関する文学者たち

♪ 2月・3月生まれの主な文学者たち

2月26日	ヴィクトル・ユゴー（1802）	3月10日	石井 桃子（1907）
2月29日	赤川 次郎（1948）	3月15日	真壁 仁（1907）
3月 1日	芥川龍之介（1892）	3月20日	安野 光雅（1926）
3月 7日	安部 公房（1924）	3月20日	渡辺 茂男（1928）

♪ 2月・3月に亡くなった主な文学者たち

2月28日	まどみちお（2014）	3月 6日	菊地 寛（1948）
2月28日	松谷みよ子（2015）	3月10日	金子みすゞ（1930）
3月 1日	田中 澄江（2000）	3月24日	ジュール・ヴェルヌ（1905）

□ 図書館員のひみつの本棚 《 No.118 》

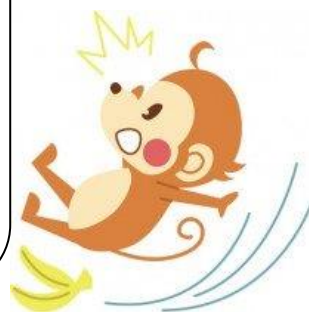
福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが素敵な本を紹介してくださるコーナー。
今回は今年の干支にちなんだお話し！と思いきや、え？4700万年前！え？人類の進化の
謎に迫る！！またまた、びっくりポンです。

♪ 今月の「図書館員のひみつの本棚」の本：

『イーダ 美しい化石になった小さなサルのものがたり』

ヨルン・フルム, トルシュタイン・ヘレヴェ／文
エステル・ヴァン・フルセン／絵 遠藤ゆかり／訳
河野 礼子／監修

創元社 2015年 1620円



♪あとがきにかえて *****

久方ぶりの大雪にびっくりしていたら、いつの間にか、もう2月も下旬です。

来月はいよいよ卒業・卒園の月。それぞれの学校・園では、卒業・卒園に向けた様々な
取り組みで、一段とお忙しくなられることでしょう。

学校図書館では年度末ということで、本の返却の呼びかけや、年度替わり特有の作業が
待っているかもしれません。巣立ちゆく子どもたちが、学校図書館のことを懐かしく思っ
てくれるとともに、卒業・卒園・進級後も、さらに本に親しんでくれるといいですね。

係では「このようなことをします・やっています」という各学校・園からの情報を待つ
ています。連絡先は下記のとおりです。どしどし情報をお寄せください。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 711-4655 FAX： 733-5538